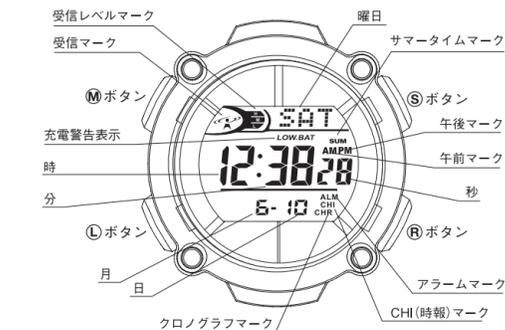


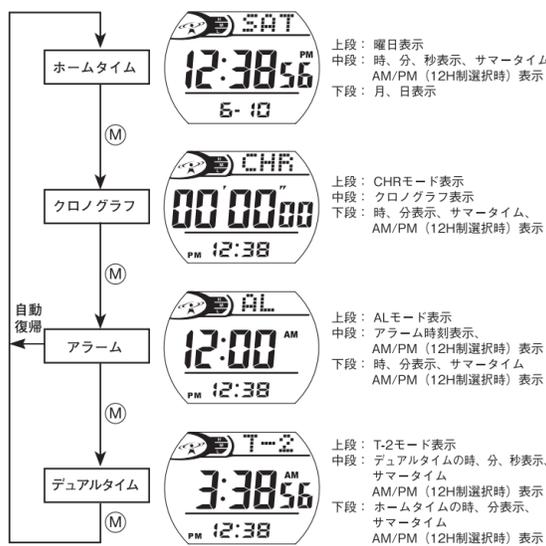


## 表示・ボタンの説明



## 各モードの表示と切替え方

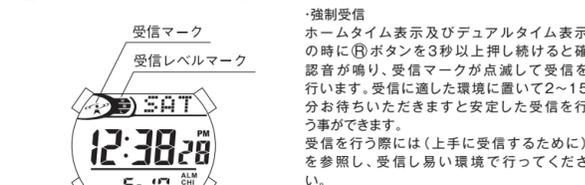
Mボタンを押すと以下の順で切り替ります。



## 電波の受信方法

●受信について  
 この時計は、操作なしに自動的に受信を開始する「定時受信」とボタンの操作によって実行される「強制受信」とがあります。電波を正しく受信すると自動的にホームタイムの時刻、カレンダーが修正されます。

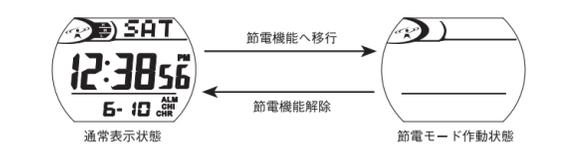
・定時受信  
 1日最大2回(ホームタイム時計の表示時間基準で午前2時と午前4時)自動的に受信を開始します。午前2時の受信が成功すると以後の定時受信をキャンセルし、翌日の午前2時まで定時受信は行われません。  
 ※定時受信の開始および終了時に、確認音は鳴りません。



●受信マークについて  
 ・受信できている場合  
 受信マークが点灯します。ホームタイム表示状態かデュアルタイム表示状態のときにRボタンを押すと、受信できた時の受信レベルを表示します。受信レベル表示は、もう一度Rボタンを押すか、約10秒後に消灯します。  
 ・受信できていない場合  
 受信マークが消灯します。時刻とカレンダーの修正は行われません。  
 ※受信が正常に終了しているにも関わらず正しい時刻、カレンダーが表示されていない時は受信中にノイズ等が影響し、間違ったカウントを行った事が考えられますので場所を変えて再度受信を行ってください。  
 ※受信機能を多用しますと二次電池消耗を早めますのでご注意ください。  
 ●受信の中止  
 ・受信中に受信を中止させたい時は、Lボタンを3秒以上押し続けます。受信マークの点滅が終わり、受信開始時の受信マーク表示状態に戻ります。  
 ※定時受信を中止した場合は、確認音が鳴りませんが、強制受信を中止した場合は確認音が鳴ります。  
 ●受信中のボタン操作について  
 ・受信中にLボタンを押すとLED照明が点灯します。  
 ※受信中はLボタンとRボタン以外の操作はできません。

## 節電モードについて

夜間及び映画館などの暗所ではソーラーパネルによる発電は行われません。このような暗所でもお且つ長時間光が当たらない状態が続くと節電機能が働き、時計の表示を消灯させて節電を行います。但し、時計内部では正しい時刻を刻み続けます。



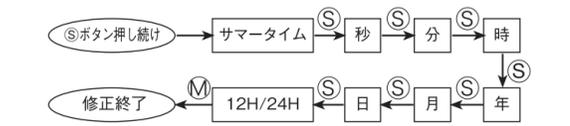
●節電機能を解除するには  
 節電モード作動状態において十分明るさの光が当たると時計が発電を開始して節電機能が解除されます。また、節電機能作動中に任意のボタンを押すとLED照明が点灯して節電機能が解除されます。  
 ●クロノグラフ作動中に節電機能へ移行すると  
 クロノグラフ計測中に節電機能へ移行すると時計の表示は消灯しますがクロノグラフのカウントは継続されています。  
 ※節電機能作動中でもクロノグラフ計測は継続されています。節電機能を解除する為にS又はRボタンを押しますと計測ストップ、スプリットタイム表示となります。クロノグラフ計測開始後に時刻表示に戻しておきますとボタンの誤入力による計測データの損失を防止する事ができます。  
 ●節電機能作動中にアラーム設定時間になると  
 節電機能作動中でもアラームの設定時刻になるとアラームが作動します。アラーム停止後も引き続き節電機能を継続します。  
 ●節電機能作動中の正分になると  
 節電機能作動中でもチャイムをONに設定しますと毎正分(00分)ごとに時報が鳴ります。

## LED照明の使い方

時計のLボタンを押しますとLED照明が点灯します。ボタンを1回押した時の点灯時間は約2秒です。  
 ※LED照明を多用しますと二次電池の消耗を早めますのでご注意ください。

## 時刻、カレンダーの使い方

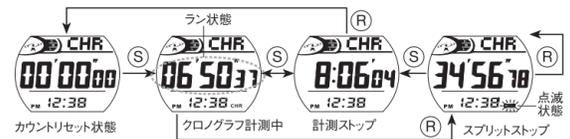
標準電波の受信による時刻合せの他、手動で時刻を合せる事も出来ます。  
 ※受信を行うと正確に時間を合せる事が出来ます。  
 ●受信による時刻の合わせかた  
 ・「電波の受信方法」を参照してください。受信が成功すると時刻、カレンダーを合わせられます。  
 ●手動による時刻の合わせかた(受信が困難な場合)  
 ※時報サービス117番をご利用になられると正確に合わせられます。  
 ・ホームタイム表示のときに、Sボタンを押し続けるとサマータイム表示が点滅します。点滅箇所が修正可能です。Sボタンを押す毎に点滅箇所が次の順で移動しますので、Rボタンを押して合わせてください。Rボタンを押すと1進み、押し続けると早送りになります。どの状態からでもMボタンを押すと修正状態が解除されます。



●サマータイムの切替え方  
 「SU」が表示され、「on」又は「of」が点滅しているときにRボタンを押す毎にon/offの切り替えが行われます。日本国内でご利用の場合はoff(「of」)にセットしてください。  
 ※2019年10月現在、日本ではサマータイムは実施されていません。  
 ●秒の合わせ方  
 「秒」が点滅しているときにRボタンを押しますと秒は「00」になります。このとき秒表示が30~59秒のタイミングでRボタンを押しますと分が1進みます。  
 ●分、時、年、月の合わせ方  
 Rボタンを押して合わせてください。合わせが終了したらSボタンを押して次の修正項目へ送ってください。  
 ●12時間制/24時間制表示の切替え方  
 「12H」または「24H」の表示のとき、Rボタンを押して時間制を切替えてください。この時間制はアラーム表示、デュアルタイム表示にも反映されます。  
 ●修正の終了  
 12H/24H表示の切替えの後、Sボタンを押すと時刻、カレンダー合せが終了します。また、どの修正状態からでもMボタンを押すと合せは終了します。  
 ※受信マークが点灯している状態から手動による時刻修正状態になりますと、修正の有無に関わらず受信マークは消灯します。

## クロノグラフの使い方

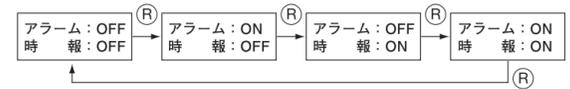
計測時間は23時間59分59秒まで計測でき、24時間計測後は自動的に停止してリセット状態に移行します。計測スタートから59分59秒99までは1/100秒単位まで表示しますが、計測時間が60分を超えるると計測カウントは時、分、秒の表示に切り替わります。



●クロノグラフの使い方  
 1) クロノグラフ表示状態のときにSボタンを押すと計測を開始します。再びSボタンを押すと計測がストップします。さらにSボタンを押すと計測のストップしている状態から再度計測を開始する積算計測もできます。  
 ※クロノグラフ計測中には「CHR」マークが点灯し、計測ストップ状態のときには「CHR」マークが消灯します。  
 2) 計測がストップしているときにRボタンを押しますと計測カウントがリセットされます。  
 3) クロノグラフ計測中にRボタンを押すと「CHR」マークが点滅してスプリットタイム計測を行うことができます。スプリットタイム計測では表示は停止しますが時計は計測を続けています。再度Rボタンを押すと次のスプリット計測を表示します。最後のスプリットタイム操作から10秒が経過するとクロノグラフ計測中に表示に戻ります。  
 4) スプリットタイム表示中にSボタンを押すとクロノグラフ計測がストップし、ストップ時間を表示します。再びSボタンを押すとクロノグラフ計測が再開されます。  
 ※クロノグラフ計測(ラン状態)中は、定時受信が行われません。また強制受信もできません。  
 ※クロノグラフ計測中にMボタンを押しますと、ホームタイムに切り替わりますが、クロノグラフ計測は継続されています。クロノグラフ計測中にはほかのモードでも「CHR」マークが点灯していますので確認することができます。再び、クロノグラフモードに切替えますとクロノグラフ計測中の表示となります。  
 ※クロノグラフモードでは、カウントリセット状態でのRボタン操作を除き、SボタンとRボタンを押すと操作音が鳴ります。

## アラーム・時報の使い方

アラームは分単位でセットできるほか、「ON」「OFF」を切替えることもできます。アラーム表示ではボタン操作が行われなまま約2分が経過すると時刻表示に戻ります。  
 ※受信中にアラーム設定時間になりますと受信は一時中断し、アラーム終了後に再度受信を行います。  
 ●アラーム時刻の設定の仕方  
 1) アラーム時刻表示の時にSボタンを押し続けるとアラーム時刻の「時」が点滅します。Rボタンを押してセットしてください。Rボタンを押し続けると早送りとなります。12H制をご利用の場合は午前マーク「AM」と午後マーク「PM」にご注意ください。「時」のセットが出来ましたらSボタンを押してください。  
 2) 分が点滅しますでの「時」と同様に合わせてください。Sボタンを押すとアラーム時刻設定が完了します。どこかの修正状態からでもMボタンを押すとセットが完了する他、約2分間ボタン操作が行われなかった場合にもセットが完了となります。アラーム時刻設定が完了するとALMマークが点灯してアラームが設定されている事をお知らせします。  
 3) セットした時刻になるとアラームが20秒間鳴ります。アラーム鳴り中いずれのボタンを押しても音を止める事ができます。  
 ●アラーム・時報のON/OFF設定の仕方  
 アラーム時刻表示の時にRボタンを押す毎にアラームの「ON」「OFF」、時報の「ON」「OFF」を切替える事が出来ます。アラームONの時にはALMマークが点灯し、時報ONの時にはCHIマークが点灯します。



## デュアルタイムの使い方

デュアルタイム時刻表示では別の時差を持った国の時刻を表示することができる他、サマータイムもホームタイム表示とは別に設定することができます。デュアルタイムでは1時間刻みで時刻を設定できます。分、秒表示はホームタイムに準じます。デュアルタイム表示の時にSボタンを押し続けるとサマータイム表示が点滅を開始します。点滅箇所が修正可能です。Rボタンを押す毎にon/offの切り替えが行われます。Sボタンを押すと点滅箇所が時に移動しますのでRボタンを使用して合わせてください。Rボタンを1回押すと1進み、押し続けると早送りになります。どの状態からでもMボタンを押すと修正状態が解除されます。